

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社ウチヤマホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6059 URL http://www.uchiyama-gr.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山文治  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画室長 (氏名) 山本武博 (TEL) 093-551-0002  
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日~平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	5,109	10.3	474	30.1	475	20.4	283	34.5
25年3月期第1四半期	4,630	—	365	—	395	—	211	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 291百万円( 39.5%) 25年3月期第1四半期 208百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	61.26	61.11
25年3月期第1四半期	48.05	47.70

(注) 平成24年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	27,115	10,739	39.6
25年3月期	25,522	10,540	41.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 10,739百万円 25年3月期 10,540百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日~平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,896	13.8	1,189	28.7	1,246	35.1	749	56.8	161.75
通期	22,756	14.0	2,411	24.4	2,438	26.0	1,398	1.5	301.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	4,632,700株	25年3月期	4,632,700株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	35株	25年3月期	35株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	4,632,665株	25年3月期1Q	4,392,336株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社では、個人投資家の皆様向けに適宜、事業・業績に関する説明会を開催しています。開催の予定等については、当社ホームページをご確認ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### (当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、デフレ脱却と経済再生に向けた金融緩和の実施、成長戦略への期待感から、円安・株高基調で推移しており、輸出企業を中心に一部で景気回復への兆しが見られています。

世界経済においては、欧州経済の低迷、中国経済の失速など懸念材料もありますが、アメリカ経済では、株価の上昇が続いており、景気回復が期待されています。日本国内におきましては、そのような外部環境の動向を注視し、慎重な姿勢を保持しつつも、景気回復を最重要課題とした政策に対する期待が感じられる状況でありました。

このような経営環境下におきまして、当社グループは、各セグメントにおきまして、事業戦略に基づく営業活動等を積極的に推し進めてまいりました。また、事業間のシナジー効果を向上させる取り組みとして、飲食事業所属の料理人が介護施設に出張し、入居者に対して「まぐろの解体ショー」等のケータリングを積極的に行いサービスの付加価値を高めるなどしたほか、カラオケ事業、飲食事業間において、2次会の利用促進を行い顧客の回流による集客の向上をはかるなどしました。

経費面におきましても、コスト削減を進めることで経営の効率化を行い業績の安定化をはかりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は5,109,821千円（前年同期比10.3%増）、営業利益は474,972千円（同30.1%増）、経常利益は475,791千円（同20.4%増）、四半期純利益は283,775千円（同34.5%増）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①介護事業

介護事業におきましては、6月にグループホーム及び小規模多機能型居宅介護施設の併設施設である「さわやかグループホームせいとう（18床）」・「さわやか小規模多機能清納館」（福岡県北九州市八幡西区）と「さわやかグループホームなかばる（18床）」・「さわやか小規模多機能中原館」（福岡県北九州市戸畑区）を新規開設いたしました。これらにより、当第1四半期末時点での営業拠点は54ヶ所109事業所となりました。また、前期に開設した施設の入居が進捗したこと及び「さわやか新門司館」（福岡県北九州市門司区）が4月より特定施設入居者生活介護の指定を受けることが出来たことなども、売上高や利益向上の要因となりました。既存施設におきましては、空室を減らすために、近隣の病院や居宅介護支援事業所への訪問による連携の強化を推進することで入居率の安定化を目指しました。これらの結果、売上高は2,488,375千円（前年同期比19.2%増）、セグメント利益は278,035千円（同14.9%増）となりました。

#### ②カラオケ事業

カラオケ事業におきましては、4月に「コロッケ倶楽部九大学研都市駅前店(27室)」（福岡県福岡市西区）、6月に「コロッケ倶楽部大分駅前店(30室)」（大分県大分市中央町）を新規開店いたしました。これにより、当第1四半期末時点での店舗数は87店舗となりました。また、既存店舗におきましては、飲み放題のコースなどの獲得強化に努めたほか、前年から引き続き65歳以上向けの特典である「さわやかゴールドメンバーカード」会員の獲得を推進するなどしてリピートの増加に努めました。この結果、売上高は2,004,763千円（前年同期比5.3%増）、セグメント利益は366,995千円（同38.2%増）となりました。

### ③飲食事業

飲食事業におきましては、5月に「あつけらかん(150席)」（福岡県福岡市中央区）及び6月に「かんできや黒崎本店(173席)」（福岡県北九州市八幡西区）のリニューアルを行いました。当該地域における顧客の個室需要に対応するため個室数を大幅に増加させております。なお、新規出店は行っていないため当第1四半期末時点での店舗数は26店舗となります。また、リニューアル工事期間中におきましては、当該店舗の営業を休止したため、売上高及び利益減少の要因となりました。既存店舗におきましては、集客が減少傾向にあるため、タイムサービスの実施による集客の増加をはかったほか、法人顧客の獲得を目指し、企業訪問をするなどして、宴会需要等の獲得に努めました。この結果、売上高は480,907千円（前年同期比5.6%減）、セグメント利益は42,641千円（同21.0%減）となりました。

### ④その他

その他におきましては、ホテル事業において、円安の影響による国内旅行の活性化に伴う需要の獲得を目指し、広告媒体を活用し宿泊客の増加に努めました。不動産事業では、賃貸マンションの管理業務などを中心に行っております。この結果、売上高は135,776千円（前年同期比4.7%増）、セグメント利益は13,985千円（同11.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,592,220千円増加し、27,115,203千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末より1,144,945千円増加し、11,982,536千円となりました。主な要因は、現金及び預金が増加したことです。

固定資産は、前連結会計年度末より447,274千円増加し、15,132,666千円となりました。主な要因は、建物及び構築物、土地が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ1,393,478千円増加し、16,376,072千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末より1,065,843千円増加し、7,503,887千円となりました。主な要因は、短期借入金、賞与引当金が増加したこと及び未払法人税等が減少したことによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末より327,635千円増加し、8,872,185千円となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末より198,741千円増加し、10,739,131千円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものです。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は39.6%となりました。

また、資金の流動性については、当第1四半期連結会計期間末における流動比率は、159.7%となっており、今後、十分な流動性を確保するために、比率を高めてまいります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、概ね計画通りに推移していることから、平成25年5月10日に公表いたしました業績予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,806,551	9,824,372
売掛金	1,145,803	1,197,469
商品	62,131	61,125
販売用不動産	15,078	29,078
貯蔵品	39	39
その他	839,556	902,557
貸倒引当金	△31,568	△32,105
流動資産合計	10,837,591	11,982,536
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,603,077	6,949,204
土地	3,540,298	3,549,168
その他(純額)	1,147,095	1,208,044
有形固定資産合計	11,290,471	11,706,416
無形固定資産		
	41,893	43,921
投資その他の資産		
その他	3,442,926	3,472,114
貸倒引当金	△89,899	△89,786
投資その他の資産合計	3,353,027	3,382,328
固定資産合計	14,685,391	15,132,666
資産合計	25,522,983	27,115,203
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	319,466	249,776
短期借入金	1,303,650	2,826,640
1年内償還予定の社債	35,000	35,000
1年内返済予定の長期借入金	1,889,574	1,919,812
未払法人税等	760,418	194,504
賞与引当金	142,173	218,649
ポイント引当金	235,897	227,406
その他	1,751,863	1,832,097
流動負債合計	6,438,043	7,503,887
固定負債		
社債	105,000	105,000
長期借入金	6,740,158	7,147,566
資産除去債務	155,908	160,462
その他	1,543,482	1,459,155
固定負債合計	8,544,549	8,872,185
負債合計	14,982,593	16,376,072

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,360,519	1,360,519
資本剰余金	1,814,476	1,814,476
利益剰余金	7,361,992	7,553,115
自己株式	△42	△42
株主資本合計	10,536,945	10,728,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,974	11,063
繰延ヘッジ損益	△1,529	—
その他の包括利益累計額合計	3,444	11,063
純資産合計	10,540,389	10,739,131
負債純資産合計	25,522,983	27,115,203



(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	4,630,993	5,109,821
売上原価	3,960,031	4,319,548
売上総利益	670,962	790,273
販売費及び一般管理費		
給料手当	69,503	66,251
賞与引当金繰入額	2,814	3,480
貸倒引当金繰入額	4,096	654
その他	229,333	244,913
販売費及び一般管理費合計	305,748	315,300
営業利益	365,214	474,972
営業外収益		
受取利息	2,291	1,885
受取配当金	531	448
受取手数料	29,506	17,094
受取保険金	9,505	22,835
その他	52,412	8,016
営業外収益合計	94,247	50,280
営業外費用		
支払利息	46,399	42,711
その他	17,868	6,749
営業外費用合計	64,267	49,460
経常利益	395,193	475,791
特別利益		
固定資産売却益	—	14,710
特別利益合計	—	14,710
特別損失		
固定資産除却損	427	11,307
特別損失合計	427	11,307
税金等調整前四半期純利益	394,765	479,194
法人税、住民税及び事業税	203,385	166,046
法人税等調整額	△19,684	29,371
法人税等合計	183,701	195,418
少数株主損益調整前四半期純利益	211,064	283,775
四半期純利益	211,064	283,775

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	211,064	283,775
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,119	6,089
繰延ヘッジ損益	890	1,529
その他の包括利益合計	△2,229	7,619
四半期包括利益	208,834	291,394
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	208,834	291,394
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,088,024	1,904,044	509,256	4,501,325	129,667	4,630,993	—	4,630,993
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	308	8,866	9,174	32	9,206	△9,206	—
計	2,088,024	1,904,352	518,123	4,510,500	129,700	4,640,200	△9,206	4,630,993
セグメント 利益	242,052	265,642	53,992	561,687	12,512	574,199	△208,985	365,214

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ホテル事業及び通信事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△208,985千円の内容は、セグメント間取引消去112,003千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△320,988千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	介護事業	カラオケ 事業	飲食事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	2,488,375	2,004,763	480,907	4,974,045	135,776	5,109,821	—	5,109,821
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	194	9,998	10,193	—	10,193	△10,193	—
計	2,488,375	2,004,958	490,905	4,984,238	135,776	5,120,015	△10,193	5,109,821
セグメント 利益	278,035	366,995	42,641	687,672	13,985	701,657	△226,685	474,972

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業、ホテル事業及び通信事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△226,685千円の内容は、セグメント間取引消去114,942千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△341,627千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。